

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

●八戸駅東口駅前広場についての意見

(※整備方針の方向性について、以下の5つの視点でご意見をお聞かせください。)

(1) 安全性の確保

※広場歩行空間・交通広場・前面道路とのアクセスにおける安全性の改善についてなど

○ユートリー側に公共交通(バス・タクシー)をまとめるなど素晴らしい案もあったが、最終的には、市からの検討案に基本的には賛同。

○バスの駅前広場への進入を駅前交差点で一度左に曲げて、ユートリー手前で右折する場所に対向車の「停止禁止部分」を設けてスムーズな右折を誘導し、一般車を一切シャットアウトすれば、これまでの問題は解決できると思われる。

○駅前交差点を終日歩車分離とし、斜め横断も可能としてユートリー側の横断歩道を廃止する。

○バスの通路に横断歩道があり危ないので問題の横断歩道をなくして別の横断歩道を利用してもらおう。

○身体障がい者用スペースに一般車が釣られて入ってこられないように一般車両進入禁止の標識を設置する。

○仮の身体障がい者の乗降場所はバス進行の前で危険なのでタクシープール側の身体障がい者用スペースの前後どちらかに設ける。(タクシー乗車場所現行4台を3台にする)

※その他、この機会に危険な箇所から改善する。(危険な横断歩道はなくする。)

○バスのりば、タクシーのりば、各施設をつなぐ動線の安全確保のため、横断歩道を視認性の良い色にする、路面を隆起(減速帯)させるなど、歩行者・車両運転者の注意を促すようなことが改善につながると考えられる。

○駅に向かって左側をバスとタクシーの公共交通、右側を自家用車乗降場とイベントスペースとして、前面道路からの各車両の出入りを明確にする。更に現状、駅左側自家用入口を廃止し、歩行者の安全性を確保する。

○駅に向かって左側の路線バス・観光バスの乗降場所の中に一般車用の短時間駐車場があることから、バスと一般車両が混在して交差点が非常に危険になっている。

○基本的に路線バス・観光バス専用とすることで、交差点の危険性は無くなると思われる。

○広場全体の配置については、基本的に事務局(案)に賛成させていただきます。

○可能な限り、現在整備されているもの、形状を維持し有効的に活用する。

○植樹されている櫟と噴水の間を広場を設けて活用させる。(車両の進入なし)

○出入口を限定し、安全面も向上する。

★以上★

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

(2) 利便性とアクセス性の向上

※バスプール・タクシープール・自家用車乗降場・短時間駐車場のあり方についてなど

- 待機するバスもタクシーも「一番町バスプール」の有効活用が図れたら良いと思う。
 - 自家用車乗降場は多少（身体障がい者乗降場含め5台程度）必要だと思うが、長時間駐車にならない様、30分まで無料のフラップ型駐車場（西口同様）にし、短時間駐車利用は、原則としてユートリーに全面移転した方が良い。
 - ユートリー側スペースを路線バス、高速バスのバスプールとし、ユートリー前を出入口にする。尚、観光バスは西口を利用。
 - 短時間駐車場は、ユートリー駐車場を利用してもらおう。
 - 自家用車乗降場は宝くじ売場側を活用。
 - 現在のバスの出入口を障がい者用乗降場にする。（バスプールとは棲み分けする）
 - バスプールは短時間駐車場を無くしてバスだけにする。但し西口にもスペースがあるので高速バス、観光バスは事前の調査をして適正台数、最小限に抑える線引きが必要だと思う。
 - タクシープールはコロナ禍が終息後も可能な適正台数にする。（事前調査）
- ※タクシー乗り場前に雨・風にさらされない簡易な待合室があれば「おもてなし」の心にもなる。
- 自家用車乗降場はタクシープールの『宝くじ売り場前』から『みくら前』まで右側を自家用乗降場にすれば今より多く利用スペースが取れるよう分割する。（平成5年5月の頃のように）
 - タクシー車両数の縮小ができるのであれば、バスのりばとの共存は可能かと考える。案の中で、バスのりばへ道路からの右折での進入案があったが、対向車線をまたぐことになることから円滑な侵入ができないものと考えられるので、専用の進入・退出路は必要かと考える。
 - (1)と同じく、駅に向かって左側をバスプールとタクシープール、右側を自家用車乗降場とイベントスペースにする。
 - 駐車場については、ユートリーや近隣の駐車場と連携し、東口駅前広場は使用しない様にする。
 - 駅に向かって左側は基本的にバスのみとして、右側はタクシー乗降場と自家用車乗降場を明確に区分して設置すればいいのでは。
 - バスを待つ人は風雨等をしのげるユートリー内で待つことができる。館内にバス情報のサイネージ等があればいい。

↓次ページへ続く

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

(2) 利便性とアクセス性の向上

※バスプール・タクシープール・自家用車乗降場・短時間駐車場のあり方についてなど

○短時間駐車場は廃止してユートリーの立体駐車場に誘導し、駐車した人が利用した場所で無料券を発行してもらう等で対応してはどうか。

○バスは単独とし、タクシーと一般送迎車両を同じスペースとする。

○無料駐車場はユートリーに協力してもらいたい。

○タクシーと一般送迎車両の入口前にラバーポールを設置し、左折のみ進入とする。(安全、渋滞対策)

★以上★

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

(3) 駅前広場としての集合性の向上

※人が集まる空間づくり、観光案内、にぎわい創出、イベントスペースのあり方についてなど

○タクシープールの縮小することで八戸駅西口広場にも劣らない広場の整備を期待する。

○八戸駅東口は八戸の顔ですので『シンボル』の活用をする。

(前回も記入した・八戸市民の花「菊」・木「欒」・鳥「ウミネコ」・魚「烏賊」やマスコットキャラクターの『いかずきんズ』や『ウミネコ』『食用菊』、『前沖さば』もプラスしたモニュメントや丈夫なフラッグ・バナーや、最近は県外の地域で小学生の盆栽ブームな所もあるので八戸の木『欒』の盆栽コーナーなど設置し八戸独自の賑わいの創出。(盗難防止策をとる。)

○スッキリした、わかりやすい観光案内板の設置。

○商売が成り立つような「キッチンカー」や「飲食店」の公募をする。

(出店の際は審査をして長期に渡り継続できる店の選定をする。)

(お客様の為にもなるので、できるだけ家賃を低く設定する。)

○待合環境の整備は必須かと考える。スペースを利活用しあたたかい空間を作っていただきたい。

○駅に向かって右側はイベントスペースと自家用車乗降場のみとし、イベントスペースを常に確保する。イベントスペースにおいては、普段イベントのない時は、ベンチ等を置いて駅利用者が休めるスペースにする。更に観光案内やイベント案内の演出をする。

○駅前広場全体が殺風景な印象なので、八戸に着いて一番先に見ることになる駅前には「わくわく」する感じを演出したい。バス停を結ぶキャノピーに(中心街のような)小洒落たバナーフラッグを掲示するなど、季節に合わせて八戸地域の魅力を表現して旅を楽しめる玄関口にしたい。

○駅に向かって右側の空き店舗等を活用して、ビジネスマンが短時間仕事ができるようなワーキングスペース等を設置してはどうか。

○せっかく噴水があるが、現在は有効活用されていない。(導線が悪いため)

○車両の通路がない安全空間が必要であり、車両通路がなければ噴水前でイベント等が可能となる。

★以上★

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

(4) 現代的な仕様へのアップデート

※バリアフリー、デジタルサイネージ、バスロケ、看板デザイン統一化等による現代化、需要抑制も視野に入れた施設配置見直しについてなど

○身体障がい者乗降場所は、市案のようにバスプールに配置すると、逆に一般車も入って来るおそれがあるので、自家用車乗降場の一角（一番手前）に目立つように設けるようにすべき。

○駅前広場に、どのような施設があるか分かり易く。（大きな看板のようなものの設置でも良いと思う。）

○上記の件は前回、出た意見でいいと思います。

（手本になるようなバリアフリー化を進める。（他県からも見学に来るような）

○サイン、サイネージは見やすくわかりやすいもので統一することはよろしいかと思う。

○バスへの流れ、タクシーへの流れ、自家用車への流れを色別に看板等でデザインしわかりやすくする。

○八戸駅東口にある様々な案内表示に統一感がなくイメージが良くないので、できるだけまとめて分かりやすい案内に変更したほうが良い。

○各バス停も分かりやすいもの（LED広告等）を活用する。

○身障者とエレベーターが反対側になるが、バスと一般車両を分けることを考えると、現在の位置を維持する。

★以上★

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

(5) 既存施設の利活用と連携

※駅ビル、西口広場、ユートリー等の既存施設や、周辺施設との連携についてなど

○ユートリーは、是非バスターミナル的【待合所、サイネージ（バス接近表示）設置】な設えを施し、観光客などを誘導し、三社大祭のPRや観光案内もより充実させ、併せて2階の誘致企業等の紹介により八戸市の産業都市としてのPRも広く可能となる。

○ユートリーがどのような施設なのか、又、イベント等のお知らせが外からでも分かるようにした方が良いと思う。

○西口広場を有効に活用するには西口に似ている駅を参考にして考えるしか思いつかない。

○西口広場への高速バス・観光バスのりばの設定は、十分考えられるのではないか。

○駐車場については、ユートリーや近隣駐車場、西口駐車場と連携し、東口駅前広場には駐車しない様にする。

○町内会や駅前商店会、フラットアリーナ等と連携し、イベントスペースを活用し、駅前広場のにぎわいと地域の活性化を図る。

○新たにバス待合施設を作るのではなく、ユートリーを上手く使って館内で待機できるようにした方がいい。館内にバス情報のサイネージ等を設置すれば、安心してバス待ちができる。

○一般車両は、ユートリー駐車場への協力が必要。

○ユートリー駐車料金について、駅利用者のみに限らず、飲食店利用者についても割引等の対象とする。

★以上★

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ(まとめ)

●その他

- 令和3年11月15日の意見メモの図で現況・案1・案2とありますが駅前広場は地域公共交通の場所でもあるので左右どちらか自家用車を一面使用するのとは根本が違うと思う。
- バス会社、タクシー会社は駅前への乗り入れは駅構内で営業する許可証(料金を払い)を出して認められている。
- バスとタクシーの場所を逆にする案もございましたが形状や広さを考えるとバスにとっては使い勝手がよくないと思う。
- いろいろな幅広い意見の中から駅前広場に詳しい専門のコンサルタントが全体を総合的にプロデュースして「いい点、悪い点」を判断して八戸市民にとって誇れる駅前広場にしてほしい。
- バス停の案内表記について「中心街行き」のバスと表記があるが、旅行者にとっては「中心街」がどこなのか分からず戸惑っている人がいる。分かりやすい案内表記があるといいという声が聞かれる。
- 信号交差点から出入口は極力遠ざける。(安全性と渋滞対策)
- 緊急車両等スペースを確保する。(交番や事件事故対応)
- 様々な条件を検討し、イメージ図面作成。

★以上★